

阿蘇市

かわらべ

議会だより 第43号

2016年11月発行 第3回定例会



阿蘇登山道路（県道111号）が9月16日、地震から5ヶ月ぶりに片側通行で通れるようになり、山上観光の再開をPRする関係者

目 次

- | | | | |
|---------------|---------|--------------|---------|
| ○第3回定例会審議結果報告 | P2 | ○経済建設常任委員長報告 | P12～P15 |
| ○平成28年度9月補正予算 | P3 | ○市政を問う（一般質問） | P16～P23 |
| ○第3回定例会議案一覧 | P 4～P5 | ○全国市議会議長会表彰 | P23 |
| ○総務常任委員長報告 | P 6～P8 | ○阿蘇市議会活動状況 | P24 |
| ○文教厚生常任委員長報告 | P 9～P11 | | |

第3回定例会報告

平成28年第3回阿蘇市議会定例会が、9月1日から15日までの15日間開催されました。

専決処分の報告3件、条例の制定1件・一部改正5件、平成28年度補正予算9件、認定13件、諮詢2件、その他3件が審議され、審議の結果、議案等36件は可決等となりました。

条例審議（主なもの）

議案79号 阿蘇市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

災害対策基本法等の規定により阿蘇市に派遣された職員に対して、災害派遣手当等を支給するために改正されたものです。



平成27年度決算認定（主なもの）

決算認定は、決算の数字だけでなく、内容も審議され認定するかどうか意見が交わされます。認定されなくても執行済みであることから、その年の運営には影響はしませんが、今後の行財政運営に当たっての参考となります。

一般会計歳出総額
193億6,872万円

（一般会計起債残高183億2,804万円）



一の宮地区統合小学校
建設工事費23億3,554万円

病院事業会計歳出総額

・収益的支出額（税抜）22億1,705万円
・資本的支出額（税込）6,759万円



一般会計繰入金 5億397万円

認定第1号 平成27年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 反対討論…指定管理施設である「はな阿蘇美」の基本納付金600万円が未納になっていること、入金の目度も説明ではなく、市に損害を与えたままになる。また、阿蘇医療センターへの多額の繰り出しがあること等
- 賛成討論…基本納付金は1回の未納であり、決算認定については税収、諸々も含まれることから、単にこれだけを捉えて否決するのはいかがなものかと思う。
以上のような、反対、賛成討論があり賛成多数で認定されました。

平成28年度9月補正予算（主なもの）

一般会計補正予算

**44億690万円を可決
予算総額281億8,776万円**



農地被害（あびか付近）



被災したカントリーエレベーター

災害復旧費 21億7,396万円

- 農地等災害復旧工事・・・19億5,000万円



木屑チップ破碎機

農林水産費 12億6,522万円

- 震災復旧緊急対策経営体育成支援事業補助金（納屋、機械等復旧費9割補助分…3億4,064万円）
- 熊本地震被災施設整備等対策事業費補助金（阿蘇町カントリーエレベーター…2億624万円）

衛生費 10億2,440万円

- 災害廃棄物処理委託料 9億9,580万円
- 災害廃棄物集積所機械借り上げ料 2,646万円

下水道事業特別会計補正予算

**歳入歳出からそれぞれ6億6,867万円を減額し
予算総額12億9,930万円**

災害復旧費 6億2,967万円減額し 7億5,846万円となる

- 当初、道路からの目視により工事費を見込んでいたが、その後、カメラ調査等により、被災額が確定し減額となった。



配管作業

第3回定例会議案一覧

議案等番号	付 議 事 件 名	議決結果
報告第 9 号	専決処分の報告について	報 告
報告第 10 号	専決処分の報告について	報 告
議案第 76 号	阿蘇市職員の退職管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第 77 号	阿蘇市災害対策本部条例の一部改正について	原案可決
議案第 78 号	阿蘇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 79 号	阿蘇市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 80 号	阿蘇市景観条例の一部改正について	原案可決
議案第 81 号	平成28年度阿蘇市一般会計補正予算について	原案可決
議案第 82 号	平成28年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 83 号	平成28年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 84 号	平成28年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 85 号	平成28年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 86 号	平成28年度阿蘇市坂梨財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第 87 号	平成28年度阿蘇市古城財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第 88 号	平成28年度阿蘇市中通財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第 89 号	平成28年度阿蘇市病院事業会計補正予算について	原案可決
認定第 1 号	平成27年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 2 号	平成27年度阿蘇市阿蘇山観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 3 号	平成27年度阿蘇市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 4 号	平成27年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 5 号	平成27年度阿蘇市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 6 号	平成27年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 7 号	平成27年度阿蘇市坂梨財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 8 号	平成27年度阿蘇市古城財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 9 号	平成27年度阿蘇市中通財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定

議案等番号	付 議 事 件 名	議決結果
認定第 10 号	平成27年度阿蘇市宮地財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 11 号	平成27年度阿蘇市土地改良事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 12 号	平成27年度阿蘇市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認 定
認定第 13 号	平成27年度阿蘇市病院事業会計決算の認定について	認 定
報告第 11 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
議案第 90 号	阿蘇市土地開発公社の解散について	原案可決
議案第 91 号	字の区域の変更について	原案可決
議案第 92 号	旧慣による公有財産の使用権の一部変更について	原案可決
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	適 任
諮問第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	適 任

以上、議案35件（報告3件、条例5件、予算9件、認定13件、諮問2件、その他3件）

◎追加議案等

議案等番号	付 議 事 件 名	議決結果
議案第 93 号	阿蘇市温泉センター条例の一部改正について	原案可決

以上、議案1件（条例1件）

議案等の賛否表（賛否が分かれた議案等の結果）

○：贊成 ■：反對 議：議長

※上記以外の議案は全会一致で可決しました。

総務常任委員長報告

総務常任委員長

湯淺正司

共団体の職員の身分を併せて有すること、また、その給料、手当及び旅費は、派遣を受けた地方公共団体が負担することとなつております。

総務常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

料が上がるということで特別に給料が上がることで通常の勤務地で支給されるべき金額を負担金として、派遣元の自治体に納めることがあります。なお、この負担金額の約80%

をされるとの確認をしております。」との答弁がありました。

また、委員より、「防災無線の購入」ということ

とで予算が計上されておりました。

波野地区は、すべてNECの子機でないと対応できません。また、阿蘇地区につきましては、

内牧支所を経由して阿蘇地区の防災無線放送が、

操作卓によって、本府からNECの子機でないと対応できません。また、阿蘇地区につきましては、

内牧支所を経由して阿蘇地区の防災無線放送が、

流れなかつたとのこと

であり、停電で流れなかつたのではないかと

いうような話もありま

すが、阿蘇地区では、

平成24年

の水害後に非

常用電源装置を更新し

ておりますし、メー

カーにも機器の異常は

一切ないとの確認を取

りました。

議案第81号「平成28年度阿蘇市一般会計補正予算について」

総務課所管分

委員より、「市長選

が、今回もその体制で

が、NEC

本庁からの放送についても無線の業務日報の中で、正しく配信されていることも確認しております。ただ一つ気になるのが、機器のメーカーが違う関係で、本庁・内牧支所間の通信にNTTの回線を利用しており、地震の揺れでその回線が不安定になつたのではないかという点が懸念されます。どうしても将来的には今のアナログ式の無線からデジタル式の無線に更新する時期が到来しますので、その時点での全地域、統一して、情報が隅々まで正しく対応していく必要があります。ただ、このデジタル化は10億～20億といつた莫大な予算が必要となることが予想されますので、導入にあたっては、財政面や防災面を含め関係部署で、十分論議し、また必要なところは議会とも相談しながら進めて

いかなけれどと考えております。」との答弁になりました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第86号「平成28年度阿蘇市坂梨財産区特別会計補正予算について」

認定第1号「平成27年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について」

議案第87号「平成28年度阿蘇市古城財産区特別会計補正予算について」

委員より、「石綿管はアスベストの関係で人体に悪影響を及ぼすものであり、予算の関係もあるだろうが、できるだけ早急に交換し

た方がいいと考える

最初に波野支所費について、委員より「波野地区福祉バス運行事業について、予算が179万6千円計上されているが、波野地区は広範囲な地域であるため、この事業は隅々まで行き届いているのか。」との質疑があり、支所長より、「平成25年あたり、その当時の担当部署がパンフレットを作成しまして、全

業界について、予算が179万6千円計上され物ができる神楽苑も入場料がメインになつてきますので、そちらを利用していくような状況です。」との答弁がありました。



波野地区福祉バス

現在は毎月初めに、運休のお知らせ等を含め、お知らせ端末で放送して周知を図つております。「核家族化が進み、高齢化社会になり、買い物難民等、いろいろな弊害が出てくる。そこで、この実態把握をアンケート等で調査をし、必要であれば予算を増額して、バスの日数を増やす等、そのあたりの検討もするべきではと考えるが。」との意見があり、支所長より、「現状としまして、波野地区の主要な10箇所の乗降場所の中に買い物ができる神楽苑も入場料がメインになつてきますので、そちらを利用していくというふうな状況です。」との答弁がありました。

見があり、総務部長より、「移動販売も含め、将来の高齢化社会に事前に対応できるようなシステムを構築していかなければならぬと考えておりますので、所管課である福祉課あたりと協議していきました。」との答弁がありました。

税務課所管分

委員より「この地籍調査は、長期に亘って行われている事業であるが、なかなか進捗率が上がらない。一番の原因是予算だけじゃなくて技術的なものだろ

うと考える。特に境界確認作業は、職員がどんなに頑張つても厳然とする課題である。現実論として、あと20年、30年はかかるというが、それが条件になれば、それが以上になるのではないか。この地籍調査については、国を中心

と考へておりま

す。」との答弁があり

ました。

総務課所管分

委員より「防犯灯電気料等助成事業のなかで、電気料が昨年度よ

り100万円ほど減額見直すべきではないかと考える。」との意見があり、地籍係長より、「境界確認について、実際に相互が立ち会い、確認できればいいのですが、未相続であつたり、関係者が広がっている場合は、なかなか立ち会いができないことがあります。我々としてもなるべく境界を決めていきたいということで努力はしておりますが、それでも決まらない場合は、『筆界未定』ということで処理をしておりま

す。これも一つの成果となつたが、これはLEDに切り替えたことによる効果なのか。」

一つは、防犯灯の全体の本数を調べたところ、80本ほど減つておりましたので、その結果と

委員より、「公共施設等総合管理計画策定業務の関連で、遊休土地は公売に何回もかけられており、評価が高く、場所的にもあまりいいとは言えない所が多い。財政課のほう

を進めるということなどを検討してLED化を進めることで評価するときは、固定資産税や近隣の土地評価に合わせるので、

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、総務常任委員会に付託されました



LED防犯灯

いの電気料が削減できるか。」との質疑があり、総務課長より、「通常の40ワット契約で申し上げますと、電気料の1基当たり月額248円に対し、LED化することにより、月額128円と半分近くは削減できます。た

だ、機器の交換費用に1基当たり、2万4千円ほど必要になります。これで、一気に全体をLED化することができます。今後も、遊休土地の売却について、積極的に進めてまいります。」との答弁がありました。

公売に何回かけても難しいと考える。本気で処分整理していく気持ちがあるなら、何らかの違う形をとらないと同じだと考えるが。」との意見があり、財政課長より「今年の7月1日付けで、公売の要項を見直し、今まででは基本、公売が原則でしたが、単価の問題等もあり、本当に必要な方に売れないという部分も出てきますので、随契を認めるなど、個別協議もできるよう改正し、従来よりも処分しやすいよう変更してお

ります。今後も、遊休土地の売却について、積極的に進めてまいります。」との答弁がありました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員長

古澤國義

文教厚生常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

議案第81号「平成28年度阿蘇市一般会計補正予算について」

福祉課所管分

委員より「震災で死

亡により支払う金額に差があると思うが。」

との質疑に対し、課長

認定は、総務課になります。災害弔慰金について生計主が500万円、その他の世帯員では250万円となり

ます。総務課に確認し

たところ、今回申請があつてある9名については、生計主と思われる方はいませんので、認定されれば、その他

の世帯員、250万円になると思います。」との説明がありました。

また別の委員より「待機児童は、年度当初での児童数と、年度途中の児童数は違うと思うが、その説明を。」と

の質疑に、課長より「公立保育園については、定員を満たしていないのが現状であり、途中からの待機児童の発生ではありますか、それを見越すというこ

とも必要なことであり、その体制が十分ではありませんか」との答弁がありました。

教育課所管分

委員より「不登校の対策費として予算の計上があるが、人数では

20名と、非常に多いの

ではないか。また、ど

うなことを行うの

か。」という質疑があ

り、審議員より「県下

全域では不登校の人数

は、ここ数年若干増え

ました。」

主事が3名おり、1名が特に不登校の子どもとの家庭等を所属する中学校の担任等と一緒に、家庭訪問を既に2回から3回ほど行っています。その中で保護者の意見、家庭での様子などを聞いて、保護者の理解が得られたところから順次通ってきており、一の宮中学校と阿蘇中学校から数名が通っている状況になります。」といふ答弁がありました。

また、別の委員から公費解体の受け入れは12月までと説明があつたが、12月以降はどうに考えているのか。」との質疑に対し、課長から「罹災証明書の発行期間は13ヶ月であり、建物の被害調査も完全に終わっていないため、今後、半壊、大規模半壊などの公費解体が出てくるケースもないとは言えず、現状では判断に迷う状況です。」との答弁がありました。



教育支援センター（旧 中通小学校）

市民課所管分

委員より、「災害廃棄物の処理については、

基本的に何月まで行う

のか。また、災害廃棄物処理費の機械借上料

は、何台なのか。」と

の質疑に対し、課長か

ら「一般の災害廃棄物

は9月末で受け入れを

終わる予定です。ただし、公費解体分がまだ

出でてくる可能性がありますので、受け入れは、

12月ぐらいと思ってい

ます。また、機械借り上げについては、木材を破碎する機械代であり、9月末までとしており、63日間の借上げで1t当たり約1万円を見込み、1日平均約3tを破碎できるものです。木質チップとして搬出先のバイオマス発電所の受け入れであることから、現状は25tを出しております。」との答弁がありました。

また、別の委員から公費解体の受け入れは12月までと説明があつたが、12月以降はどうに考えているのか。」との質疑に対し、課長から「罹災証明書の発行期間は13ヶ月であり、建物の被害調査も完全に終わっていないため、今後、半壊、大規模半壊などの公費解体が出てくるケースもないとは言えず、現状では判断に迷う状況です。」との答弁がありました。

ほけん課所管分

委員より「10月1日から実施のB型肝炎ワクチンの定期接種についての周知方法はどのように考へておられるのか。」との質疑に担当係長から「B型肝炎については、平成28年4月生まれの方から対象となり、既に個別通



畜協跡地の災害ゴミ仮置場

委員より、「介護保険で、今年4月から要支援1・2が負担するような形になつてある。要支援は各地区で面倒を見ることになるのか、どのような体制で事業を進めていくのか。」との質疑に、課長から「要支援1・2の方々は、これまで介護事業所の予防給付によるサービスを利用していましたが、法改正により、市町村が独自に提供する地域支援事業に移行することになりました。本年度からは、通所型サービスと訪問型サービスに取り組んでいますが、今後は地域サロン活動の充実を図っていきたいと考えています。」との答弁がありました。

知をしており、広報やお知らせ端末なども使い更に周知する予定です。」との答弁がありました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第84号「平成28年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算について」

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第85号「平成28年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計補正予算について」

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員より、「阿蘇市は、他の市町村に比べて後期高齢の医療費が高いと、以前、県下でワースト5あたりだつたと思うが、その説明を。」との質疑に、課長から「阿蘇市の75歳以上の医療費は平成27年度、一人当たり約109万円かかっており、45市町村の中でも、10番目と非常に高い水準にあります。生活習慣病に起因する脳血管疾患、心疾患、腎臓疾患などが多くみられるところから、特定健診を受けていただき、早期発見・早期治療につなげるように取り組んでまいります。」との答弁がありました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員より「臨時福祉給付金事業については、目標が7,337人、実績が5,891人といつまで行うのか。」との質疑に、事務局長から「熊本市民病院と協定を結ぶ中で、目途としては3年間を予定しています。熊本市民病院の移転建て替えの予定があり、その間、受け入れの打診があり、受け入れの打診があり、受け入れの打診があります。生活習慣病に起因する脳血管疾患、心疾患、腎臓疾患などが多くのみられるところから、特定健診を受けていただき、早期発見・早期治療につなげることになりました。」との答弁がありました。

福祉課所管分

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

認定第1号「成27年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について」

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

申請率の低下につながっていると思います。受給漏れを防ぐため、何度も周知に努め、再調査のうえ申請がない方、対象となる方には、再度申請書を送付しております。申請期間について、4箇月という決まりの中で、受付を行つたところです。「との説明がありました。

方、対象となる方には、再度申請書を送付しております。申請期間については、4箇月という決まりの中で、受付を行つたところです。「との説明がありました。

う、今後検討する必要があるのではないか。」との意見がありました。

また、別の委員より、「地震では統合小学校体育館が避難所になつたが、学校や生徒に支障はなかつたのか。」

という質疑があり、教育長より「学校の休みの期間は、問題はなかつたが、教育活動が再開され大雨が降り、緊急の避難場所になつたとき、数名の方が体育馆に避難されており、『体育をしたいので2階へ移動していただきたい。』と言つたこと

とで、損益分岐点の目標を立て運営しています。」との答弁がありました。

以上の文教厚生常任委員会に付託されました。案件についての報告です。

教育課所管分

委員より、「地震後、給食センターの稼働は問題なくできているのか。」という質疑があり、課長より「7月19日からの再開、8月の2学期の給食開始については、設備的にも増設した部分でも、また食器洗浄機から最後の片づけまで、今のところ何も問題なくスムーズに運営が行われています。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「水の確保ができるよ

う、今後検討する必要があるのではないか。」との意見がありました。

また、別の委員より、「地震では統合小学校体育館が避難所になつたが、学校や生徒に支障はなかつたのか。」

という質疑があり、教育長より「学校の休みの期間は、問題はなかつたが、教育活動が再開され大雨が降り、緊急の避難場所になつたとき、数名の方が体育馆に避難されており、『体育をしたいので2階へ移動していただきたい。』と言つたこと

とで、損益分岐点の目標を立て運営しています。」との答弁がありました。

以上の文教厚生常任委員会に付託されました。案件についての報告です。

市民課所管分

委員より、「塵芥の収集運搬委託料について、6台をその地区毎に回しているのか。」との質疑に対し

て担当係長から「市所有の塵芥車6台を貸与し、旧阿蘇町地区を美郷阿蘇、旧一の宮町地区、波野地区をシティークリーンという

委員より、「保健対策推進事業については、財源がほとんど一般財源となつていてが、交付金などはないのか。」との質疑に課長

より、「当年度の純損失が1億8,600万円となつてます。」との意見がありました。

委員より、「当年度の純損失が1億8,600万円となつてます。」との意見がありました。

ほけん課所管分

認定第13号「平成27年度阿蘇市病院事業会計決算の認定について」



文教厚生常任委員会の未来館視察

価は、入院が1日3万2,000円、外来の診療単価は月1万1,000円、病床稼働率が84・6%というこ

とで、損益分岐点の目標を立て運営しています。」との答弁がありました。

以上の文教厚生常任委員会に付託されました。案件についての報告です。

經濟建設常任委員長報告

經濟建設常任委員長

高宮正行

経済建設常任委員長 高宮 正行

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第81号「平成28年度阿蘇市一般会計予算について」

議案第80号「阿蘇市 景観条例の一部改正 について」

住環境課所管分

宅にコンクリート基礎
が打つてある理由をお
聞きしたい。」という質
疑があり、住環境課長
より、「今後の余震等も

委員より、「本条例は、県条例との内容と比較して同じようなものか。」という質疑があり、住環境課長から、「基本的には県条例を引き継ぐのですが、阿蘇の実情に合った内容をもりこみ、阿蘇郡市統一した内容となつております。」という答弁がありました。

「仮設住宅の使用期間は2年間なのか。」といふ質疑があり、住環境



阿蘇体育館横の仮設住宅

委員より、「仮設住宅入居後の利便性等に関し、改修が必要になつた場合の対応について。」との質疑があり、住環境課長より、「玄関の入り口、トイレ、風呂場等の手すりは、事前に設置されております。それ以外の手すり設置等の改修については、入居者への意向調査を行つておられ、支援の必要な方に對しては県を要望し、対個人的な設置物、例えばBSのアンテナ等については個人で施工していただことになります。その他、どうしても付帯設備、修繕等が必要になつた場合は、県が支給する仮設住宅管理費補助の中で、市判断での対応になりますと、いう説明があつています。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「老朽住宅解体工事について、戸数と棟数は、そして、この解体費用の財源は。」との質疑

があり、住宅係長より、「戸数は35戸で棟数は25棟、財源は社会資本整備総合交付金を活用します。」との答弁がありました。

農政課所管分

委員より、「農業用施設災害復旧費について、特定財源のその他内容は。」との質疑があり、農政課長より、「災害復旧には個人負担があります。農地であれば農家の方々から約5%程度をご負担いただき、土地改良施設であれば土地改良区にも同様に負担いただくものです。」という答弁があり、別の委員より、「引き続き、国、県などに再度要望するなどし、少しでも農家の方々の負担が軽減されますよう努力していただきたい。」との意見がありました。

また、別の委員より、「委託費にある被害判定業務について詳しくお聞きしたい。」との質疑があり、農政課長より、「公の団体であります県の建築士協会に依頼し、農業用施設の被害査定を専門家に依頼し、助言等いただ

くものであります。」
との答弁がありました。
また、別の委員より、
「農業用施設被害の補助を受ける際の判定基準をお聞きしたい。」

見ているのか。」といふ質疑があり、「まちづくり課長より、「所管する災害関連の費用は、6月に計上させていただいた施設の修繕費、点検委託料の約790万円で、所管する関係機関、商工業者の方々の復旧費用につきましては、国の支援となりますグループ補助金等を活用しますので、市の負担は今のところありません。」との答弁があり、また、委員より、「今後のまちづくりを進めるに当たって、市としての支援等あればお聞きしたい。」との質疑があり、「まちづくり課長より、「既存する市独自の補助制度、商店街景観整備事業、商店街活性化事業等の補助要綱を改正する等し、震災関連の分野でも大きく活用できます。」との答弁がありました。

議案第82号「平成28年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について」

A black and white photograph showing two construction workers on a paved street. The worker on the left is crouching near a manhole cover, while the worker on the right is standing and using a long-handled tool to lift the circular manhole cover. They are both wearing white hard hats and dark uniforms. In the background, there are traditional Japanese houses with tiled roofs and some scaffolding, indicating ongoing construction or repair work. The street has a white dashed line marking.

下水道マンホール確認の様子

ただきたい。」との意見がありました。

また、別の委員より、「委託費にある被害判定業務について詳しくお聞きしたい。」との質疑があり、農政課長により、「公の団体であります県の建築士協会に依頼し、農業用施設の被害査定を専門家に依頼し、助言等いただ

「いまだき、途中で辞め
るようなことになれば、
補助金返還も発生する
ような内容になつてい
ます。」との答弁があ
りました。

の質疑があり、まちづくり課長より、「既存する市独自の補助制度、商店街景観整備事業、商店街活性化事業等の補助要綱を改正する等し、震災関連の分野でも大きく活用できますよう検討してまいります。」との答弁がありました。

復旧工事に関する1億7,200万円の減額措置について、理由をお聞きしたい。」との質疑があり、住環境課長より、「まず下水道自体、地中にあり見えませんので、被災当初は60数kmの下水管を職員が直接、外観目視や、マンホールを開け確認し、また、道路亀裂から被害を想定する等、おおよそで予算を計上したものであります。その後に下水管にカメラを入れて詳しく被災状況を確認した結果、想定した費用より大きく下回ったこと

「現状としましては、宅内にある汚泥を強制的にポンプで吸い上げて、本管へ送水するような装置を設置していますが、最終的には、元の位置の高さに本管を付け直すというようなことで計画を進めているところです。」との答弁がありました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

認定第1号「平成27年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について」

住環境課所管分

委員より、「合併浄化槽の普及状況をお尋ねします。」との質疑があり、「住環境課長より、「合併浄化槽の補助件数は、過去5年間で、平成23年が91基、25年が1

基、26年が105基、昨年27年が75基と110基前後の推移で、汲み取りや単独槽から合併浄化槽へと少しずつ水洗化が進んでいます。」との答弁がありました。

その他では、公営住宅の入居者に関するモラルの低下等についての意見がありました。

農業委員会所管分

委員より、「耕作放棄地について、震災が発生したことでの影響は予想されますか。」との質疑があり、「農業委員会事務局長より、「耕作放棄地については、8月に調査を行い、現在、集計途中ではあります

が、大きな増加は見られませんでしたので、震災はそこまで影響していないものと考えています。」との答弁がありました。

農政課長より、「本施設内に残っています機械について、農協が使用したいとのお話しや、それ以外でもいくつかの要望もあつております。これから先方と本格的な協議に入るような状況です。」との答弁がありました。

「水田農業経営確立対策事業にある、経営所得安定対策推進事業についての説明を。」との質疑があり、「農業所得の安定を図るため、それらの事務を担う再生協議会が必要とされる事務経費になります。」との答弁がありました。

委員より、「阿蘇市商工会に対しても1,347万の補助金を交付していますが、一方で商工会員数が減少して、事業効果はあつたとされている理由についてお聞きしたい。」との質疑があり、「まちづくり課長より、「会員数の増には目標数値までは至ってはいませんが、新規事業の取り組み、様々な創業支援事業の展開を実施する等、商工会の会員数増に向けた取り組みがなされているということなりました。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「プレミアム商品券事業補助金について、今回、国が消費喚起と景気対策として実施されたのですが、結果、大型店舗の利用者が多く、小規模な個店への利用者が少なかつたと

また、別の委員より、「阿蘇市一般会計決算審査書の収入未済額調査に指定管理施設の納付金の未納が明記されている件について、その状況をお聞ききしたい。」との質疑があり、

「阿蘇市長より、「現在も継続して請求しておりますが、本件については指定管理選定委員会にお諮りし、今後の対応等について検討していく所存であります。」との答弁がありました。

観光課所管分

委員より、「草・観・然」活性化事業の2,150万円について、詳しい内容をお聞きしたい。」との質疑があり、「主に阿蘇温泉大半を占める旅館組合への1,400万円については、主に鉱泉源補助金として1,400万円支出来ています。残り50万円を本事業の委託料として支出してお



はな阿蘇美

認定第2号「平成27年度阿蘇市阿蘇山観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

経済部長より、「火

口周辺は国有地等も含まれております。ガス対策等も含め、関係機関が一体となり万全を期した体制で臨んでまいります。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「今後の課題と取り組まれております。ガス対策等も含め、関係機関が一体となり万全を期した体制で臨んでまいります。」との答弁がありました。

審議の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のような審議を行いました。反対討論があり、「指定管理施設の納付金に未納があるため認定できません。」との意見がありました。

管を使用しておりますが、今回の地震を受け、更に耐震性の高い管を検討しています。

しかし、この耐震管は費用的に高くなることから、口径等を十分考慮し効率的な布設替えを進めます。」との答

このため拳手による採決を行った結果、賛成少数で、認定第1号は認定しないものと決定いたしました。

業会計決算書にある資本的収支の収入総額1億8,600万円の収入源の内容は。「とい

う質疑があり、水道課長から、「収入源1億8,600万円の内訳は、主に起債と国庫補助金、水道の加入金等であります。」とい

う質疑がありました。

また、別の委員より、「昨年度5,800万円の純利益なつていてが、毎年、このぐらいで推移しているのですか。」という質疑があり、水道課長より、「平成26年度の純利益が4,086万円、平成24年度の九州北部豪雨災害の年は、2,098万円の純損益であります。」とい

う質疑があり、水道課長から、「阿蘇市では、以前から耐震性のある管を使用しておりますが、今回の地震を受け、更に耐震性の高い管を検討しています。」以上が、経済建設常任委員会に付託されました案件についての報告です。

阿蘇市議会第3回定例会



14議員が登壇 (一般質問)

熊本地震からの復旧、復興について



五嶋 義行

五嶋 熊本地震で阿蘇の宝である草原の被災状況と、それに関する再生計画については。

本山農政課長 55牧野組合中30の牧野組合が被害を受けています。管

理面積約6,700haうち54haに被害が出ており、国営の草地改良部分にのみ国の補助が受けられるという状況になっています。

五嶋 崩落した石の再利用は考えられないか。

農政課長 現場の発生材として

は、考えられますが、運搬等に多額の費用がかかると思います。

五嶋 阿蘇全体の中では、野焼きを断念した牧野があるようですが、その状況は。

農政課長 各牧野から状況は非常

に厳しいというお話を伺っています。野焼きの関係者会議は、例年、

1月に開催していますが、本年は早めに開催し協議を図ります。

五嶋 狩尾幹線の復旧には80億程

度かかると聞いているが、代替道路についての考えはないか。

阿部建設課長

狩尾幹線の復旧に

ついては80億円以上の費用がかかると見込まれるので、地元にも復旧の目途が立たないと説明していますが、代替道路については、今後、土木部と経済部で現場を見見せていただきて検討していきます。

五嶋 農地の創造的復興について、農家の受益者負担を少なくゼロには出来ないか。

農政課長

全般的に今回の災害は、農業関係の負担が多いため、当初から国、県に要望しています。現実創造的復興での復旧工事を実施することから、引き続き農家の負担が軽減されるよう努力します。



地震で被災した狩尾幹線

地震後、防災行政無線が流れなかつた理由は

はな阿蘇美の運営といこいの村について

JR代替バス阿蘇市は何をするのか



谷崎 利浩

谷崎 市民が通学・通勤で非常に苦労している。県とJRは対応をしてくれた。阿蘇市として隙間の日曜日や昼間に予算をつけるとか、既に6,000万円の補助金を出していする、産交バスの一部を大津にシフトするとか、そうしたらどうか。

宮崎財政課長 阿蘇市管内路線バスとJR代替バスの運行については、切り離して考えるべきで、路線バスの一部をシフトして大津に走らせるとかは考えておりません。(JR代替バスについては教育課で対応)

市原教育部長 教育課を窓口として県に協議・要望を行っています。阿蘇市としては、あくまでもJRの公共交通機関の責務である考えます。



市原 正

散登記されている、昨日の全員協議会で私が質問し、8月末に法人解散の事を知ったと課長が答弁したが、議会の開会日9月1日の全員協議会で何故早く我々議会に報告しなかつたのか。私たち議会に対しても説明すべきことは、しっかりと説明すべきではないでしょうか。

谷崎 震災時旧阿蘇町地区に防災無線が流れなかつたが理由は、正しく本庁から旧阿蘇町へ発信されています。ただ、旧一の宮町と旧阿蘇町は無線のメートルが違うことから、本庁→内牧支所間をNTT回線でつないでおり、地震の揺れにより回線が不安定であつたことが考えられます。

高木総務課長 操作手順に基づき、正しく本庁から旧阿蘇町へ発信されています。ただ、旧一の宮町と旧阿蘇町は無線のメートルが違うことから、本庁→内牧支所間をNTT回線でつないでおり、地震の揺れにより回線が不安定であつたことが考えられます。

夢の湯の年間バス券導入は?

谷崎 検討委員会で出たように年間バス券、2,000円の回数券が対応が必要。アゼリアは年間バス券がある。同じ市の施設で不平等であるが。年間バス券の想定はしております。年間バス券の想定はしております。

佐伯まちづくり課長 夢の湯 자체の経営安定化を図るという前提のもと料金の改定に踏み込みました。年間バス券の想定はしております。年間バス券の想定はしております。

谷崎 検討委員会で出たように年間バス券、2,000円の回数券が対応が必要。アゼリアは年間バス券がある。同じ市の施設で不平等であるが。年間バス券の想定はしております。年間バス券の想定はしております。



JR代替バス

他に「いこいの村と、はな阿蘇美」等の質問がありました。

市原教育部長 教育課を窓口として県に協議・要望を行っています。阿蘇市としては、あくまでもJRの公共交通機関の責務である考えます。

佐伯まちづくり課長 未収金の納付金についてはいち早く催促して納入をとご指導いただきました。

市原 その指摘にまちづくり課はどういう対応をしたのか。

まちづくり課長 未納が判明しまして、口頭や納付書の再発行、7月末に文書にて催告しております。

市原 相手法人からの回答は、まちづくり課長 相手法人からの回答は現時点ではつておりません。

市原 同じ法人がいこいの村の賃貸借契約と平成27年度賃料の減額を申し出ている。いこいの村の賃料はまけろ、はな阿蘇美の納付金は納入しない、市の施設の指定管理や賃貸借契約をしている企業がこういうことをやっている。非常におかしいと思うが、プログレアも8月2日に解説委員会を設置して議論を行います。



阿蘇いこいの村

北外輪山一帯山腹崩壊の防災対策について



園田 浩文

その為に砂防事業の国直轄の「砂防事業所」の阿蘇市内への設置を働き掛けたいと思っております。雨が降るたびに避難の繰り返しでは、市民の皆様も安心できず、特に高齢者の皆様方には大変な事です。そのあたりをしっかりと踏まえ、取り組んで参ります。

園田 地震での山腹崩壊箇所数は。
本山農政課長 治山関係での調査では、76箇所約120億円の被害です。

園田 今後の国・県の防災対策は。北外輪山も西側の崩壊が激しく、尾根部分の先端に亀裂が入っています。熊本県による「災害関連緊急砂防事業」が現在、阿蘇市管内で12箇所44億円決定しております。今後、地権者の了解を得られた箇所から順次工事に着手、緊急を要する事業ですので、3年間で完了する予定となっています。

園田 山腹崩壊の防災について市長の見解は。

佐藤市長 4年前の集中豪雨、今回のはどの地震と、阿蘇の山々は何かあると大変な事態になり、その麓では多くの人々が生活を営んでおられます。レッドゾーンなどの危険区域には、毎年1基でも2基でも砂防ダム建設等を進めて頂くことが大事であり、



北外輪山の崩落箇所

花原川・宮原川堤防の嵩上げについて
園田 平成24年の激特工事で平成30年3月までに竣工できるのか。
建設課長 今後、戦場ヶ橋、小里新橋、黒橋の3橋の架け替え、堤防嵩上げ工事、フラッパゲート等も整備され、繰り越しも入れまして事業年度内に完了できると伺っております。

他に「支援物資の備蓄」等の質問がありました。

竹原 今年4月から要支援1と2が介護保険から自治体に移管され、どういう事業をやつしていくのか。
ほけん課長 介護保険法が改正され、新しい介護予防、日常生活支援総合事業に取り組むことになり、市町村毎に地域の実情に合った地域支

竹原 一部損壊の世帯に対する公的援助は何もありません。すべて手出します。一部損壊の世帯に対し、改修費用として市独自のリフォーム制度を作つて頂きたい。
佐藤市長 全壊や大規模半壊等の家屋に対する支援制度は、すべて、国の方で定めてやつております。ですから、竹原議員は共産党の議員さんでございますので、共産党の先生方に言つていただき、それが実現できるように国の方でやつていただきたいと思います。



竹原祐一

援事業として取り組むことになります。これまで通所デイサービスと訪問ヘルプ事業については、全国一律基準に基づくサービスでしたが、今年から阿蘇市では、緩和した基準による通所型サービス、訪問型サービスに取り組んでいくことにしております。



住宅被害認定調査の様子

一部損壊世帯に市独自の支援制度を



竹原 他に「指定避難所・自主避難所・福祉避難所の問題点」「各種税金・保険料市独自の減免制度を」の質問がありました。

他に「指定避難所・自主避難所・福祉避難所の問題点」「各種税金・保険料市独自の減免制度を」の質問がありました。

平成28年熊本地震災害の復旧・復興の取り組み概要と課題について



河 崎 德 雄

対して要請活動を行い、農家の方々の負担軽減に努めます。

阿蘇中学校前県道の信号機設置について

河崎 阿蘇中学校前県道の信号機設置計画で県下被災信号が多いと聞きますが進捗状況は如何ですか。

市原教育部長 警察署に引き続き要請し、年度内設置を目指します。

河崎 権災判定不満で2次調査依頼件数と仮設入居者の要望対応については。

高木総務課長

2次調査は44件です。仮設の要望は情報交換を進め対応します。

河崎

国道57号北側ルート早期復旧とミルクロードの安全対策の説明を兼ねた住民参加の要請集会を広域でも開催を望むが、また豊肥本線の代替バスの利便性向上は、そして民家の擁壁崩壊等を補助対象にするには。

佐藤市長

行政も要請活動は行っていますが、住民参加で民意を届けて欲しい、また民間で開催すれば支援致します。代替バスは、市の補助は考えていません。民家擁壁は補助制度等活用できいか協議します。河崎 農地復旧を24年の九州北部災害並みに負担軽減を特に限度額農地に新たな対策を求めるます。



二重の峠渋滞の様子

河崎 いこいの村は、計画が評価されアグリスクエアに選定されました。事業の進捗、賃料又は、はな阿蘇美の納付金は納入されていますか。又不明の構造図は警察に紛失届も必要と思う。

吉良経済部長

いこいの村事業は、現在実施されていません。平成27年度分はな阿蘇美分の基本納付金のみが未納です。

森元 災害拠点施設とは。

井野医療センター事務局長

災害対策基本法に基づき都道府県知事が指定する各種災害が発生した時に傷病者の受け入れや医療救護班の派遣業務を行います。

森元 事務局長

災害に強い構造や整備とは。新棟及び病院の地下には、72基の免震装置があり、柱の1

本1本が免震ゴムで支えられており、震度7の地震にも耐えられるような設計になっていたので、入院患者さんの命が守られ、高額な医療器具、CTやMRIなどのほか、各種検査器具も障害は起こらず、ライフラインの機能を維持することが出来ました。

森元 事務局長

実際に行われた医療活動は、発生後1週間は、連日10名から20名の緊急入院が必要な患者の受け入れが出来、また、緊急救来患者の受け入れも出来ました。救急車も連日10数台から20台、ヘリコ



森 元 秀 一

としての対応力が求められています。地域の医療機関と連携して、地域で完結できる医療体制の中心的な役割を担うことが当院の課題だと思っております。

森元 事務局長

当院に地域の中核病院

他に「期日前投票について（入場券に宣誓書を印字してはどうか）、「被災者支援システムの導入、運用について」、「非常食備蓄の考え方」等の質問がありました。



阿蘇医療センター

災害拠点施設としての医療センターの役割は

パートナーも1～3機受け入れ、発生時には医師、看護師、業務調査員で構成された災害派遣チーム（D.M.A.T）の受け入れ活動拠点になります。エコノミー症候群対策は各避難所を回り、弹性ストッキングを配る等、予防活動が行われました。

自主防災組織について



高宮 正行

みが自主防災組織と思う、特に校区にある公民館分館が自主防災組織の中核と考えるが見解を。

総務課長

平成24年の豪雨災害を受け、区長会研修会の中で実活動を頂いた狩尾2区の大木元区長さんを講師としてお招きし、活動内容等の講話を頂いたり、組織強化に向けた勉強会を実施している、今年も12月2日の区長会研修も危機管理防災課におられた職員の方にお願いし研修予定です、今後、今回の地震対応を検証し公民館分館とも話をしている。



阿蘇市公民館（中通分館）

高宮 総務課長 震災直後の1軒1軒への声掛けやお年寄りの家庭からの避難誘導、避難所への誘導や地区の公民館での炊き出しが行われました。

高宮 総務課長 平成21年度です。

高宮 総務課長 117行政区のうち115行政区が自主防災組織を結成しているが、結成年度は。

古木 総務課長 指定避難所と自主避難所の違いは。

高宮 総務課長 自治体が指定し運営するのが指定避難所、各地区で自ら的に運営するのが自主避難所です。

高宮 総務課長 117行政区のうち115行政区が自主防災組織を結成しているが、結成年度は。

坂梨公民館用地、道路改良、合併浄化槽、通学路、渋滞緩和等の諸問題について



古木 孝宏

慎重に検討します
古木 一の宮小学校児童の登下校時の通学路の安全対策を早急に行つていただきたいと考へます。

古木 市原教育部長

市長 総務課長 他の事業の要望も多く、平成29年度予算編成が出来るかどうか。

古木 市長 受け、当初予算に計上し改良工事に向け測量設計を行う計画でしたが、地震の影響で若干遅れしており、現在発注に向けて手続きを行っています。



JA坂梨跡地

古木 市長 佐藤市長 一の宮中学校横、御仮屋前の道路改良要望について、その後の進捗状況を。

古木 市長 現地は坂梨地区の大きな拠点であり、公民館駐車場等も手狭である。市有地として出来れば全部購入して頂きたいが、その考えは。拠点があるが、現地は坂梨地区の重要な拠点であると考へます。地域の皆さん方に支障がないよう内部で検討したいと考へます。

古木 市長 佐藤市長 現地は坂梨地区の大きな拠点であると考へます。地域の皆さん方に支障がないよう内部で検討したいと考へます。

古木 市長 市長 要望活動の中で、関連5項目と一緒に県の土木部長、担当者に対し、図面等を使用して詳しく伝えたので、先方も検討していると考へています。

古木 市長 市長 要望活動の中で、関連5項目と一緒に県の土木部長、担当者に対し、図面等を使用して詳しく伝えたので、先方も検討していると考へています。

震災復旧緊急対策経営体育成支援事業について



井 手 明 廣

家は大変困ると思われるが。

農政課長 災害復旧は、来年の作付けに間に合うよう復旧工事を行うこと基本となっています。しかし、沈下した部分は当然無理と思われ、その間の作物の補償金等は、現在の制度にありませんので、工事内容を工夫し別の作物が出来ないか検討します。また、同時に国・県に対しても所得補償等の支援要望に努めます。

井手 農家の説明は十分だったか。
本山農政課長 地震発生後、まず

県や国に対し復旧事業があるか情報収集を行いました。一方で先に施設撤去を開始している農家もあり、補助の対象になるかもしれないのに、現場写真や関係書類を必ず保存するよう周知を行いました。その後支援事業の内容が見えてきましたので、説明会を6月6、7日に行い、農業用倉庫の場合、修繕が基本ですが、修繕より建て替える費用が安ければ、それも可能ですので、見積もりを両方提出し決定するという内容になります。修繕の場合、規制は無く、再建になれば施設の耐用年数分の15年か20年、営農を続けることが条件で途中で辞めれば補助金返還になる等、農家に十分伝えております。

井手 地震による被災した水田、畑の復興復旧について、本年度は、3要件揃えば、交付金は出るが、来年度はどうなるのか、収入が無い農家



被災した農業施設

井手 阿蘇いこいの村どうなるのか。
吉良経済部長 プログレアが撤退し、施設も利用されていません。57号線の開通まで新たな企業進出も難しいと思います。

阿蘇いこいの村について
年間1千万円の賃借契約だ

がいくら減額の要望なのか。

経済部長 現在のところ350万円です。



受賞された藏原博敏議長



受賞された古木孝宏議員と田中則次議員

阿蘇市議会活動状況 (H28年7月～10月)

- 7月25日 熊本県市議会議長会臨時総会
- 7月27日～29日 阿蘇市町村議長会研修
- 8月 5日 阿蘇市町村議会正副議長・各常任委員長・議会運営委員長研修
- 8月20日 農林水産大臣、阿蘇視察対応（震災関連）
- 8月22日 九州管区気象台要望活動（山上規制関連）
- 8月24日 全国治水砂防会長、阿蘇視察対応（震災関連）
- 8月25日 阿蘇市議会運営委員会
- 8月26日 熊本県市議会議長会、県知事への要望活動
- 9月 1日～15日 阿蘇市議会第3回定例会
- 9月 8日 熊本県要望活動（震災関連）
- 9月16日 総務常任委員会、山上被災状況確認
経済建設常任委員会、阿蘇吉田線通行部分解除セレモニー出席
- 9月23日 国土交通省要望活動（震災関連）
- 10月 9日 熊本県知事、阿蘇視察対応（火山噴火関連）
- 10月10日 坂本哲志衆議院議員、片山さつき参議院議員、阿蘇視察対応（火山噴火関連）
- 10月14日 全員協議会（火山噴火関連）
- 10月17日～18日 第262回熊本県市議会議長会（正副議長会）
- 10月21日 全国市議会議長会正副会长阿蘇視察（震災関連）
阿蘇市町村議会議員研修
- 10月27日～28日 阿蘇市町村議会正副議長研修



総務常任委員会、山上被災状況確認



阿蘇市町村議会議員研修

9月定例議会は、平成27年度決算認定、平成28年度補正予算の審議が行われ、震災からの早期復興を目指し、6月と今回を合わせて通年の倍の予算案が可決されました。私達、市議会は、市民の皆様の日常生活を取り戻す為、議員一同、復興に向けて全力で取り組んで参ります。

編集後記



【議会広報特別委員会】

委員長	湯浅正司	副委員長	竹原祐一
委員	立石昭夫	委員	竹谷浩一
委員	竹原祐利	委員	原下治
委員	昭夫	委員	岩井正文